

授業科目 倫理学

【担当教員名】 栗原 隆	対象学年	1年生	対象学科	理学・作業・言語・栄養・保健・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2単位	時間数	30時間
<p><概要></p> <p>倫理学は徳目を覚えることではなく、何気ない日常的な判断のうちに倫理的な問題を掘り下げ、日常生活を自覚的にすることであるという観点に立って、エゴイズムの危険性や自己決定権の虚構性、さらには自由主義の難点などを明らかにすることを通して、生命倫理や環境倫理の根源的な問題について考察を深める。</p>				
<p><学習目標></p> <p>覚えることでなく考えることが必要であり、しかもある問題が倫理的に認められるのか、それとも認められないのか、倫理的に許されるべきは一つなのか、複数なのか、根拠を明示でき、客観的に筋道だてて説明できるまでに論理的に考えることが求められる。</p>				
回数	授業計画又は学習の主題			S80 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、授業方法の説明 2 人助けのためなら、嘘をつくことは許されるか？ 3 多数の人を助けるためなら、一人を犠牲にすることは崇高なことか？ 4 10人のエイズ患者に特效薬が一人分しかない場合、どのように配分する？ 5 みんなが自己実現を目指すのに、エゴイズムはどうしていけないのか？ 6 14歳は子どもでドナーカードは書けないとどうして判断できるのか？ 7 「授業中である」から「静かにすべきである」とは言えないなんて！ 8 正しいことは誰にとっても正しいのか、時と場合によって違うのか？ 9 思いやりさえあれば、道徳的だといえるのか？ 10 正直者は馬鹿をみるか、ズルして他人を出し抜いて人生うまくゆくか？ 11 他人に迷惑をかけさえしなければ、何をしても許されるか？ 12 倫理学の教師が眠っている学生を起こすことは人迷惑であろうか？ 13 現在の人間には将来の世代に対する責務があるか？ 14 愛は地球を救うか？それとも世代間倫理が成り立つか？ 			講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	現代倫理学入門	加藤尚武	講談社学術文庫	
参考書				
その他の資料	新潟から考える環境倫理	栗原隆	新潟日報事業社	
【評価方法】 毎回の確認テストと期末のテスト	【履修上の留意点】			

全科共通科目 教養